

ひがき 尚子

つながろう北海道！
つなげよう未来へ！

北海道議会議員
札幌市中央区



～ごあいさつ～

札幌は木の葉が生い茂り、日差しも増して気持ちの良い季節になりました。北海道議会議員としての二期目も二年目に入り、議員活動や視察などが活発となり、コロナ以前に戻りつつあります。また、皆様とお会いする機会も増え、温かいお言葉をかけていただき大変励みになっております。心より感謝申し上げます。

現在は物価等も益々高騰し、皆様の暮らしも厳しい状況が続いています。経常任委員会の副委員長として、国にも物価高騰対策をはじめエネルギー対策、道内物流課題に関する要望を致しました。この他にも北海道の様々な課題に、より一層取組んで参りたいと思っております。

政治に対しまして、皆様に信頼を頂けるよう精進して参る所存でございます。今後ともご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北海道議会議員 **檜垣 尚子**

オンライン体育↓



視察・教育

北海道高等学校遠隔授業 配信センター(T-base)視察

[T-base]は、道立高等学校で習熟度別授業や選択授業等が困難な小規模校に、単位認定を目的に生徒の大学進学等のニーズに合った教科・科目の授業を遠隔配信(ライブ配信)するセンターで、一学年・一間口の地域連携校・協力校の31校へ配信しています。このようなセンターからの配信授業は全国的にみても先駆けの取り組みで、先生方もオンラインでの授業方法を日々研修しているそうです。

福岡ワンヘルスの森 四王寺 視察

「ワンヘルス」とは、人の健康、動物の健康環境保全は一つ、という理念のもとで課題を解決していこうという考え方です。福岡では「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が制定され、人獣共通感染症対策や人と動物との共生社会づくりなど各分野関係団体が一体となり、ワンヘルスを推進しています。北海道にも参考になります。



視察・農政・環境生活・保健福祉部・教育

令和5年第4回北海道議会予算特別委員会

予算特別委員会(12/7)での質問項目 (11/28~12/14)



- ～ 水産林務部 ～
- 一. ナラ枯れ被害について
 - 二. 木育に推進について
 - 三. 道産材の利用拡大について
 - 四. 森林づくりを担う人材の確保について

- ～ 教育部 ～
- 一. 学校の暑さ対策について
 - 二. 不登校児童生徒の支援について
 - 三. 教職員の人事について
 - 四. 地域を支える医療人材の育成について
 - 五. ヤングケアラーの支援について

・ナラ枯れ被害北上

檜垣 全国41都府県で15万1千㎡に達するナラ枯れ被害、令和4年の道南での被害の発見経緯と原因、拡大防止策について伺う。

渡邊訓男森林整備課長 「ナラ枯れ」はカシナガキクイムシが媒介するナラ菌によりミズナラが枯れるもの。昨年8月の調査で17個体を確認、9月に松前町と福島町でドローン調査、10月の現地調査でナラ枯れを確認した。渡島檜山管内の町と森林組合などと被害木を伐採・薬剤注入した。地域住民に情報提供を呼びかけるとともに、カシナガの駆除とドローンによる森林調査を実施し早期発見に取り組む。

・木育の推進

檜垣 木育は本道発祥で令和6年に20周年を迎える。道民運動として定着を図る取組み、木育に関心のある企業への活動サポート、木育マイスターのスキルアップなどの取組みを伺う。



赤澤大佐森林活用課長 「道民の森」や道有林等での植樹・育樹の体験、「北海道植樹の日・育樹の日条列」制定5年を契機に全道で500万本の植樹・育樹を目指す「道民ひとり1本植樹・育樹運動」漁場環境保全を目的に漁協女性部が市町村と連携した「お魚殖やす植樹運動」などに取組む。また「企業等と連携した木育推進方策」を策定、HPで優良事例発信や相談ページ作成等参画を働きかける。木育マイスターには森林体験活動のノウハウや木工技術を学ぶ等研修を実施、マイスター同士の連携強化に取り組む。



北海道植樹祭

・道産材の利用拡大

檜垣 長期低迷する道産材だが、住宅分野や住宅以外の木造化・木質化、原木の安定供給や製品の供給力強化などの対策と取組みを伺う。

立原泰直林業木材課長 津別町・旭川支庁舎・北広島商業施設など61件を「HOKKAIDO WOOD BUILDING」に登録している。地域の製品リストや道産建築材リストを作成。道産木材のブランド化を強化、木材のぬくもりをピーアールする。スマート林業を推進し森林資源の循環利用と振興を図る。

・限界超える北の夏 学校の暑さ対策

檜垣 追加予算案の特別支援学校25校と他の特別支援学校、道立高校への空調設備/簡易空調の整備について、労働環境の確保から職員室への整備、夏季休業期間の延長や熱中症対策など安全な教育活動の実施について伺う。

金田敦史施設課長 比較的夏季気温が高い地域の25校と幼稚部・小中学部を優先し、高等学校は老朽化に伴う大規模改造工事等に合わせ整備を行う。

今村隆之健康体育課長 簡易型空調機器は高等学校の普通教室と特別支援学校の寄宿舎に設置する。また電気料金の増加への予算確保に努める。職員室の整備は重要だが児童生徒等への対応を優先している。

倉本博史教育 長期休業を52日以内から56日以内に変更し暑さ指数31℃以上では「運動原則中止」、熱中症警戒アラート発表時には臨時休業実施の検討をすることとした。令和6年夏までに全道立学校に空調機器(簡易型も含む)を設置、安心安全な教育環境の整備に努める。

・不登校児童生徒支援対策に全力を!

檜垣 不登校児童生徒の2割強が学校内外の機関等と繋がりが無いが、教育相談や学習機会の確保の必要性、不安や悩みを抱える保護者への支援、自立への対応を伺う。

大槻直広生徒指導学校安全課長 担任・養護教諭・スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー等専門家がチームとなり連携し学習機会の確保と教育相談体制の構築に努める。「不登校により学びにアクセスできない子どもゼロ」を柱とした「北海道版不登校対策プラン」を策定、支援に取り組む。保護者が孤立せず情報を得られるよう支援し教育相談の活用促進を図る。不登校児童生徒へ乳幼児期から就労に至るまで所属機関や相談機関が連携し支援するという他県の事例等を収集し支援の充実を図る。

・ヤングケアラーの支援

檜垣 「北海道ヤングケアラー支援推進計画」では家族やケアラーを支えるまちづくりの実現を目指している。子どもが家族の介護や援助を担う背景には様々な要因があり子どもらしい成長や学びに影響を与える懸念があるが、今後どのように取り組んでいくか。

倉本博史教育長 道内4ブロックに設置した市町村教育委員会や関係機関等で構成する連絡協議会を通じ実情や支援の現状、学校や関係機関等の連携上の課題を共有し、保健福祉部が児童相談所圏域ごとに配置しているヤングケアラーコーディネーターとの連携協力を強めるなど児童生徒の実態に応じたきめ細かな支援体制を通じ地域全体で支援する環境づくりに取り組む。

令和6年第1回北海道議会予算特別委員会

予算特別委員会質問項目 (2/20~3/19)

～ 保健福祉部 ～

- 一. 災害対策について
- 二. ひきこもり対策について
- 三. 今後の感染症への対応について

～ 総合政策部 ～

- 一. 交通対策について
- 二. ふるさと納税について
- 三. 外国人への日本語教育について



・大規模災害対策の経験を活かして

檜垣 災害医療体制の整備や対応、また高齢者施設等の災害や感染症対策について伺う。

大原幸地域医療課医療参事 北海道医療計画に基づき21の二次医療圏に計34カ所の災害拠点病院を整備し、災害派遣医療チーム・DMATを90チーム確保し、基幹災害拠点病院の札幌医大と連携し実動訓練や養成研修など実施してきた。道災害対策本部において「災害医療コーディネーター」、円滑な総合調整を行う「災害時小児周産期リエゾン」に加え「災害薬事コーディネーター」の育成など次期計画に盛り込んだ。

菊谷克巳高齢者保健福祉課長 次期介護保険事業支援計画には災害レッドゾーンやイエローゾーン内にある施設等の移転改築に必要な経費の補助、耐震化改修や非常用自家発電設備、水害対策に伴う改修等の災害対策の他、簡易陰圧装置の設置や汚染エリアと非汚染エリアを分けるゾーニング費用など新型コロナウイルス感染症防止対策についても計画に位置づけ支援を行う。

・今後の感染症に備えた人材養成

檜垣 感染症予防計画では「道・保健所設置市は医療機関や教育機関などの協力を得ながら感染対策を担う専門的人材養成を進める」とあるが介護施設等においてはどのように取り組むか。

岡村卓治地域支援担当局長 感染管理認定看護師、感染制御医療従事者など専門知識を持つ専門技術人材の方々とも連携協働し、感染症対策を担う専門人材の養成や資質向上に努め地域の対応力向上を図っていく。

檜垣 感染管理認定看護師について道内唯一の認定教育機関の北海道医療大学は令和6年度で募集終了と聞く。資格取得には約一年を要することから就労が困難になるが、道内での養成の可能性について伺う。

岡村地域支援担当局長 看護協会等関係機関と連携し道内でノウハウを持つ大学等に働きかけ確保に努める。

・みんなで守ろう鉄道輸送

檜垣 令和6年度予算でJR北海道の単独維持が困難な8線区に対して、国の考え方や対応策が示される前に利用促進関連予算に限り計上するという考え方を伺う。
佐藤寿志鉄道企画担当課長 観光が本格化し人流が活発化する多客期を見据えた利用促進策を切れ目なく展開する必要があるとの考えの下、鉄道活性化協議会による利用促進等の関連予算を当初予算案に計上した。

・大きく伸びるふるさと納税

檜垣 ふるさと納税について、総務省の基準改正への対応など道及び市町村による議論も求められるが、令和5年末北海道分の実績と取組み、課題のある市町村への取組について伺う。

福山琢也官民連携推進局参事 オール北海道で取組のPRを進め12月の需要期に向け旅行クーポンや道産おせちなど新たな返礼品の追加を行うとともにポータルサイトに特集ページの開設や中国の水産物禁輸措置を受けたホタテなど返礼品のPRなど集中的に取り組んできた。道の個人版ふるさと納税寄附は、令和5年4月から12月末までに申し出のあった額は約8億1千万円を上回り過去最高額になった。寄附獲得に苦慮する市町村に向けては実績のある自治体の個別相談会や経費削減といったアドバイスなど様々な観点から支援を行っている。

・外国人の皆さんの安心な暮らしのための日本語教育

檜垣 昨年6月現在道内在住外国人は49152人で今後の増加が見込まれるが、日本語教育は定着と共生の社会を実現するために重要な課題だが、その現状を伺う。

池田和明多文化共生担当課長 国籍も多様化が進み全道に居住し、市町村や国際交流団体、ボランティア団体等21市町村で41件の日本語教室が設置され、石狩管内が41%、教室は34%を占める。JICA北海道センターではオンライン教室を実施している。

檜垣 北海道が海外とのかかわりの中での発展を目指すのなら外国人の方々が必要な役割を果たす可能性があり、日本語教育は益々重要だが今後の取組を伺う。

小林靖幸国際規格担当課長 本年夏を目途に「仮称・日本語教育の推進に関する基本的な方針」を成案とする策定作業を進め国の補助事業活用促進に向けセミナーを開催安心して暮らし働きやすい環境づくりに取組む。

令和6年北海道議会 (4/10) 質問 子ども施策調査特別委員会

・こども・若者の意見を 施策に反映するために

檜垣 こどもの意見反映推進事業は道として初めて全道のこどもたちから意見を聞く取組みだが、どのような事をどのように聞くのか、また試行的に実施した昨年度の意見はどれくらい反映されたのか、また今後の対応は。

工藤晴光子ども政策企画課長 道の様々な分野の施策をテーマとし全道の子どもたちからインターネットを活用して幅広く意見を伺い、それをもとに地域に出向き、子どもたちと直接対話をして意見の具体化を図り施策に反映するものだ。昨年度の意見は参考となるものや方向性が同じものが14件あった。今後学校の他児童会館などもご協力いただき幅広く周知し積極的に意見を出してもらえよう取組む。



視察・活動

・幌加内 そば殻のバイオコークス事業視察

道庁の「エネルギー地産地消事業者モデル支援事業」補助金を受けた「幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム」の実証事業を視察しました。町内のそば殻などのバイオマス原料を使用し、植物由来のバイオコークスを製造、町内消費の化石燃料への代替とする脱炭素を目指すものです。



← 幌加内蕎麦



・北海道立動物愛護センター

「あいにくきた」開所式

江別市酪農学園大学敷地内に設置され、動物の譲渡や災害発生時の対応等を行う基幹センターです。R6年度までに道北・道南・道東にも開設されていきます。



・北海道立総合研究機構 道民生活の向上、道内産業の振興に貢献。「エネルギー・環境・地質研究所」ではヒグマの調査研究の話の話を聞きました。「ものづくり支援センター」では電磁波の影響を受けない電波暗室を見学しました。

・札幌市立みなみの杜

高等支援学校視察

働く力を育てる学びの中で、仕事をするということは相手があるのだということを常に伝えていくそうです。



・知事公館・近代美術館エリア

意見交換

桑園地区連合町内会・大通地区連合町内会各一日ずつ意見交換会に参加しました。知事公館・近美エリアの整備などについて道のほうからの現時点での情報提供と、住民の方々との意見交換も行いました。

・第9回日台交流サミット

in仙台

北海道議会日台親善議員として交流サミットに参加し、今後の日台親善について意見交換しました。



台南市の女性議長↑とです。

・R6年度全国日台友好議員

協議会in名古屋

今年は台南市で日台交流サミットが行われます。



北海道大学総長訪問

北大総長の寶金清博先生から現状や取組等、道政にも関係するお話をお聞きしました。



向陵中学校スノーフェスタ

校舎の改築により今回は体育館で開催されました。



保育園にて演奏



フリースクールにて演奏



すこやかクラブにて演奏



北海道カナダ協会定期総会



経済委員会 副委員長として令和7年度予算要望で経産省へ



縄文雪まつり

縄文LOVE大集合!

🐻あとがき🐻 寒暖差が大きい日々で服装も大変でしたが、暑くなり始めました。東北地方のクマ被害や北海道のヒグマ被害などのニュースが多く聞かれます。地球温暖化によってエサの植生が変化しているのでしょうか。熊の生息地が身近になりつつあるようですが、山林や森などに入る際は準備万端にしてお気をつけください。 榎垣尚子

～～所属委員会～～

経済常任委員会 副委員長
 こども政策調査特別委員会 理事
 自民党道民会議 政策審議委員会 副委員長

プロフィール
 S45.3 札幌市中央区生
 趣味：ヴァイオリン
 ポーセリンアート



ひがき尚子政策事務所

〒064-0825 札幌市中央区北5条西28丁目2-1北5ビル1階
 TEL 011-215-7372 FAX 011-215-7472

E-mail : higaki.h35@gmail.com
 HP : https://www.higakihisako.com/
 FB : https://www.facebook.com/higakihisako/

